

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通 年	科目の実務経歴	有
授業科目名	臨床医学各論Ⅰ			担当教員	山田 英史		
授業の方法	講 義			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 2. 疾病の成り立ちと構造・機能の異常 3. 人体に影響を及ぼす諸因子 7. 疫学・衛生統計 8. リスク管理 Ⅴ. 社会貢献 4. 疾病予防と健康増進に関するアドバイス						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第8章 整形外科疾患 A. 総論 F. 脊椎疾患 a. 椎間板ヘルニア c. 脊椎分離症・脊椎すべり症		1	第8章 整形外科疾患 G. 脊髄損傷		
	2	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患 b. 後縦靱帯骨化症 ～ g. 腰部脊柱管狭窄症		2	第8章 整形外科疾患 H. 外傷 d. スポーツ外傷・傷害		
	3	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患 h. 腰痛症		3	第2章 消化管疾患 A. 口腔疾患 B. 食道疾患		
	4	第8章 整形外科疾患 F. 脊椎疾患 i. 頸椎捻挫・むち打ち損傷		4	第2章 消化管疾患 C. 胃・十二指腸疾患		
	5	第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患 a. 関節炎 b. 関節可動域の異常		5	第2章 消化管疾患 C. 胃・十二指腸疾患		
	6	第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患 c. 五十肩		6	第2章 消化管疾患 D.大腸疾患		
	7	第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患 d. 変形性関節症①（ 股関節、膝関節 ）		7	第2章 消化管疾患 D.大腸疾患 E.腹膜疾患		
	8	中間試験 第8章 整形外科疾患 B. 関節疾患 d. 変形性関節症②（ 足関節、肘関節、指関節 ）		8	中間試験 第3章 肝・胆・膵疾患A. 肝臓疾患肝炎		
	9	第8章 整形外科疾患 I. その他の整形外科疾患 a. 胸郭出口症候群 b. 頸腕症候群・頸肩腕症候群		9	第3章 肝・胆・膵疾患 A. 肝臓疾患 肝硬変 肝癌		
	10	第8章 整形外科疾患 I. その他の整形外科疾患 c. ガングリオン d. 手根管症候群		10	第3章 肝・胆・膵疾患 B. 胆道疾患		
	11	第8章 整形外科疾患 D. 筋・腱疾患 a. 筋肉炎 b. 腱鞘炎(1)ばね指(2)ドケルバン病 c. 重症筋無力症		11	第3章 肝・胆・膵疾患 C. 膵臓疾患		
	12	第8章 整形外科疾患 D. 形態異常 a. 先天性股関節脱臼 ～ e. 内反足		12	第6章 内分泌疾患 A. 下垂体疾患		
	13	第8章 整形外科疾患 H. 外傷 a. 骨折 b. 脱臼 c. 捻挫		13	第6章 内分泌疾患 B. 甲状腺疾患		
	14	第8章 整形外科疾患 C. 骨代謝性疾患・骨腫瘍 a. 骨粗しょう症 b. くる病・骨軟化症		14	第6章 内分泌疾患 C. 副腎疾患		
	15	第8章 整形外科疾患 C. 骨代謝性疾患・骨腫瘍 c. 骨腫瘍		15	総括授業		
評価基準	評価：90-100点（A評価）、80-89点（B評価）、70-79点（C評価）、60-69点（D評価）、59点以下（F・不可）						
評価方法	中間試験 50％ 期末試験 50％ の割合で評価します。			実務経験	臨床経験21年 開業歴11年		
履修上の注意	整形外科疾患は日常遭遇する疾患が多いので鑑別に重要な項目をしっかりと覚える。消化器、循環器、内分泌は解剖学や生理学を復習しておくこと。			授業時間外の学習	授業後の復習をすること		
使用教材	東洋療法学校協会 編「臨床医学各論」 配布プリント PowerPoint			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。（月・水・金曜日のみ）		